

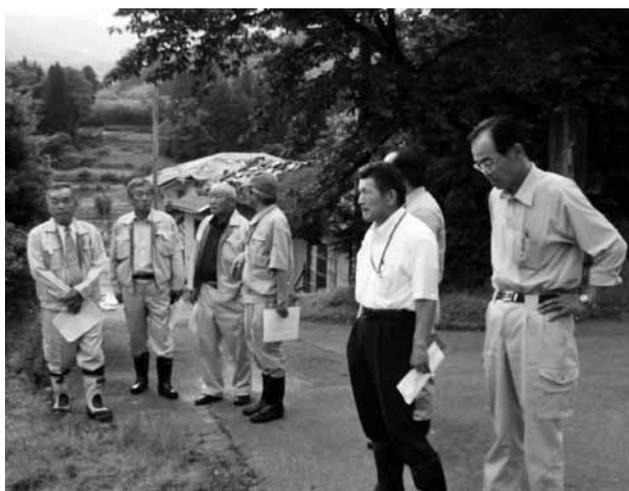
常任委員会の審査報告

総務常任委員会

名目津温泉条例の一部を改正する条例制定について

問 名目津温泉条例の一部を改正する条例制定について、定期休館日を廃止することや市内に住所を有する年齢65歳以上の者に対する定期入館券の発行及びその使用料について、定期入館券を1箇月につき4,000円と設定した根拠は何か。また、市内に住所を有する年齢65歳以上の者に限り、定期入館券を発行できるとあるが、65歳以上とした理由は何か。

答 利用者の利便性向上のために定期休館日を廃止する。定期入館券を1箇月につき4,000円と設定した根拠は、市内の同様の施設であるスカイピアあだたらと同額にした。市内の高齢者健康増進を図るための改正であり、高齢者の一般的な定義である65歳に設定した。



旧田沢小学校の被害状況の説明を受ける様子

市民産業常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 物産振興事業について、これからは、農産物・物産等の復興対策が重要であり、がんばっぺ二本松産業振興協議会への補助金、120万円では予算が少ないのでは。

答 協議会では市内の農・商・工・観光業者との連携、意見交換により必要な対策を協議し、当面は120万円の予算で取り組みの実績をつくり、その後は予算の増額補正も視野に入れ、積極的に進めたい。

問 放射性物質分析器購入について、現在、県において、農産物の放射線を測定し、状況に応じ出荷制限等の措置がなされているが、その権限がない市においてなぜ分析器を購入し、予備検査という形をとるのか。誰がどのように運用していくのか。

答 放射性物質分析器購入については、現在のモニタリング検査品目及び検査地点がきめ細かな状況になっていないため、国・県ができないきめ細かな農産物の状況把握に努め、さらなる市民の食の安全を確保し安全安

心な農業生産につなげ、今後の営農指導にも結びつけることを目的に、市の責任で設置し、市の責任で予備検査をしようとするものである。なお、本宮市、大玉村も同様の分析器購入を予定しており、これの運用については、本宮市、大玉村、JA、県等の関係機関と協議し進めていく。



防火水槽修繕工事の説明を受ける様子

6月13日に付託された各議案は、6月16日から22日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日22日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

建設水道常任委員会

二本松市一般会計補正予算等について

問 土木施設の災害復旧の件数及び予算の内訳は、今回の6月補正分まででどのようになっているのか。

答 公共土木施設災害復旧事業分は、55箇所、305,300千円、市単独による災害復旧事業分は、460箇所、227,120千円となっている。

問 市営住宅の復旧工事は、現在空き家となっているものも見込んでいるのか。

答 現在、入居募集をしていない空き家は、政策空き家として後々解体を考えているため、補修は行わない。

問 水道料金は、二本松、安達、岩代及び東和各地域で異なるが、仮設住宅入居者の水道料金についてはどのようになるのか。

答 それぞれの応急仮設住宅の建設地域の料金体系に従った水道料金で負担していただくことになる。



海老内線災害復旧工事の説明を受ける様子

文教福祉常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 公立学校施設災害復旧費のうち、最も被害が大きかったのは塩沢小学校だと思われるが、復旧にどのくらいの費用を要するのか。

答 災害査定は今後になるが、塩沢小学校の災害復旧に係る予算見積額は39,509千円である。

問 当市に避難している児童・生徒の就学援助費が計上されているが、その内訳はどうなっているか。

答 物品の費用である。小学校費では1年生から5年生で一人あたり66,610円を169人分、6年生で87,210円を41人分、中学校費では1年生から2年生で一人あたり119,580円を99人分、3年生で175,280円を51人分計上している。また、小学校費及び中学校費とも、この他に医療費12,000円を20人分計上している。小学

校6年生と中学校3年生は修学旅行があるため、単価が高い。なお、費用は全額国庫負担金で賄われる。



二本松第二中学校災害復旧工事の説明を受ける様子